

こんにちは 森林官です!

上川北部森林管理署 和寒森林事務所
森林官 野々村 真和 (写真左)



【地域の紹介】

和寒森林事務所が所在する和寒町は、旭川市より北へ 36 km の北海道北部に位置しています。

東、西、南の3方は国有林に囲まれ、中央部は概ね平坦で名寄盆地の最南端です。作付け面積が日本一の「かぼちゃ」や雪の下で保存することで美味しさが増す「越冬キャベツ」のほか、「塩狩峠」、「三笠山自然公園」などの景勝地があり、「全日本玉入れ選手権」は全国各地からの参加者により開催されるなど、魅力の多い町です。

【和寒森林事務所の概要】

管轄する国有林は約 8.1 千ヘクタールで、和寒町全体の 36% です。大部分は降った雨が少しずつ樹木をつたい地面にしみ込み、ゆっくりと川へと流れる水源かん養保安林に指定されています。

天然林は約 5 千ヘクタールで、ニレ・シナノキ・ミズナラ・カンバなど多様な樹種構成になっています。

昭和の時代から植林してきた人工林は約 2.6 千ヘクタール、トドマツが主体で、その多くは木材として利用する時期になってきています。トドマツが混んでいるところは少し間引きしたり、植林後 60 年以上経過したところは伐採して再度植林し、持続可能な森林づくりを行っています。



【和寒森林事務所の業務内容】

森林などに異常がないか確認する巡視業務など、多種多様な業務を行っています。巡視業務の一環として行う境界の保全管理では、境界杭の付近の樹木に目印となる赤色ペンキを塗布しています。

また、台風や大雨の後には、山へ向かうための林道が壊れていないか、樹木に被害がないか、山が崩れていないかなどの確認も行っています。

昨年は、大雨により国有林でも林地が崩壊し、土砂撤去作業を実施しています。今年度の山腹工



事に向けて準備を進めています。

【塩狩採種園】

道内国有林にある 18 採種園の内の 1 つが和寒にあります。採種園とは、人工林を作るにあたって「よい種子」を確保する場所になります。成長などが優れた木を集めて育成し、毎年 6 月中旬にトドマツに花が着いているか目視し、その年の豊凶を確認しています。近年、凶作が続いていましたが、昨年は和寒でも種子の採種が行われました。

【最後に】

現場最前線でいろいろなことを経験しています。昨年度は、冬期の移動手段であるスノーモビルの操作技術などを習得しました。